

令和2年10月2日
岩手行政監視行政相談センター

令和2年度行政相談委員総務大臣表彰

総務大臣から委嘱されている以下の2名の行政相談委員が、永年その職務に尽力された功績が他の模範とするに足りると認められ、令和2年10月12日（月）に、総務大臣表彰を受賞することとなりましたので、公表します。

《総務大臣表彰を受賞される岩手県内の行政相談委員の御紹介》（敬称略）

- 氏名：大棒 賢作（だいぼう けんさく）
年齢：73歳
担当市町村：宮古市
委嘱：平成20年2月1日
表彰歴：東北管区行政評価局長表彰（平成29年5月）
功績の概況：裏面参照



- 氏名：大沢 リツ子（おおさわ りつこ）
年齢：73歳
担当市町村：久慈市
委嘱：平成21年4月1日
表彰歴：東北管区行政評価局長表彰（平成29年5月）
功績の概況：裏面参照



※ 年齢は令和2年10月12日（受賞日）現在。

《表彰式》

- 日時 令和2年10月12日（月）11:00～
- 場所 ホテルメトロポリタン仙台 4階「千代東（せんだいひがし）」
（宮城県仙台市青葉区中央1-1-1）
- 受賞者 東北6県で11名（うち、2名が岩手県内の行政相談委員）

※ 例年、表彰式は、総務大臣出席のもと、東京都内のホテルにおいて開催。今年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、仙台市内のホテルにおいて東北6県の受賞委員を対象に伝達式を開催。表彰状は、東北管区行政評価局長 森丘 宏から伝達予定。



担当：岩手行政監視行政相談センター
行政監視行政相談課長 三浦
電話：019-622-3470

↑ 行政相談マスコット「キクーン」

○ 功績の概況

【大棒賢作委員】

大棒委員は、宮古市田老総合事務所において、毎月1回、定例相談所を開設しているほか、例年8回程度、市内の公民館等を巡回して特設相談所を開設するなど、行政相談委員活動に積極的に取り組んでいる。

また、東日本大震災で被災し、自らも仮設住宅に入居していたにもかかわらず、平成23年度～28年度までの間は、岩手行政監視行政相談センターと協働して被災者のための特設行政相談所を仮設住宅集会所等において計6回開設するなど、被災者支援活動にも精力的に取り組んだ。

【大沢リツ子委員】

大沢委員は、久慈市消費生活センターにおいて、毎月1回、定例相談所を開設しているほか、例年、10月の行政相談週間中には、市内の市民センター（1～2か所）において巡回相談所を開設するなど、行政相談委員活動に積極的に取り組んでいる。

また、平成23年9月には小学5年生を対象とする「行政相談出前教室」を開催したほか、平成30年度には地元のFMラジオに出演して委員制度のPRを行うなど、幅広い年代からの潜在的な相談の掘り起こしにも精力的に取り組んでいる。

※ 行政相談委員とは

行政相談委員法（昭和41年法律第99号）に基づいて、総務大臣が委嘱した民間有識者で、全国に約5,000人、岩手県内には78人配置されています（令和2年10月2日現在）。

無報酬のボランティアとして、国民の皆様から、国の行政活動全般に関する苦情や相談を受け付け、相談者への助言や関係機関に対する改善の申入れなどを行っています。